平成22年度　第2回

九度山町
まちが舞台

～端午の節句～
町家の人形めぐり

《期 間》４月１日（木）～５月５日（祝 子供の日）
《見学時間》午前１０時から午後４時まで（見学無料）
４時以降の見学はご遠慮下さい。

走行車両に注意してご見学下さい。

ご協力のお願い

- ○ 車は駐車場に停めて、歩いてご見学下さい。
- ○ 家の中に入るときは、必ず家人に声をお掛け下さい。
- ○ 人形など展示品には、許可無く手を触れないで下さい。
- ○ どの展示品も、家の思い出や願いなどの込められた大切な宝物ですので評価はお止め下さい。

うら面に、プログラムや飲食店を詳しく掲載しています。ご覧下さい。

真田昌幸公４００年法要（5月5日、真田庵にて）

1567年（永禄10年）真田信繁（幸村）が誕生。
1600年（慶長５年）「関が原の合戦」で敗れた昌幸・幸村は、同年12月に高野山（後に九度山）に配流、閉居。
1614年（慶長19年）10月、九度山で14年間過ごした幸村が家臣を連れて「大坂冬の陣」に出立。
1615年（元和 元年）４月、家康は大坂再征を命令。これが「大坂夏の陣」。
５月７日　真田大助を大坂城内へ送り、幸村は家康の本陣へ突撃、討死（49才）。大坂城落城。8日、秀頼・淀君ら自害。大助ら殉死。
真田幸村の父・昌幸は、幸村死亡の４年前1611年（慶長16年）６月に65歳でこの九度山の地で死去し、真田庵（善名称院）に墓があります。
真田庵では、真田家の宝物である毘沙門天と真田三代（昌幸・幸村・大助）の御霊が合祀されています（真田地主大権現）。
毎年５月５日に真田三代の法要が、今年は、真田昌幸公を偲んで「昌幸公４００年法要」が執り行われます。

おもてなしのまちづくり

《企　画》九度山町住民クラブ（お問合せ先　TEL 0736-54-2165）
《後　援》九度山町まちなか活性化協議会、和歌山県、九度山町、九度山町教育委員会
九度山町観光協会、九度山町商工会、南海電気鉄道株式会社、ＮＨＫ和歌山放送局